



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No. 28

発行 令和3年10月22日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 五箇中学生全員で「結城祭」の歴史に新たな1ページを追加し大成功

10月16日(土)に、ご家族の皆さまをお招きして、五箇中学校「結城祭」が体育館で開催されました。今年度の結城祭のテーマである「Be my story ~僕らが描く1ページ~」をもとに、「学年の総合的な学習の時間の学習成果の発表」や「ステージ発表」、「特設合唱部の合唱披露」、「作品展示」が行われました。結城祭の「オープニングセレモニー」と「エンディングセレモニー」では、実行委員



【エンディングセレモニー後の全校生の集合写真】

がそれぞれの持ち味を発揮し、素晴らしいパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げてくれました。各学年の「ステージ発表」では、どの学年も、脚本から演出まで生徒が主体的に取り組み、素晴らしい創造性を発揮して、演技を披露することができました。「特設合唱部の発表」では、「足跡」と「In Terra Pax」の2曲を披露し、心の中にある明日への願いと地球の平和や全世界の幸せへの願いがこもった歌声を体育館いっぱいに響かせました。「作品展示」は、国語の書写の作品、美術科の絵画の作品、1、3年生の家庭科の作品、総合的な学習の時間のレポートが体育館の後ろと両サイドの壁に掲示されました。どの作品も制作した生徒の思いが込められた素晴らしい作品ばかりで、優劣をつけがたく、審査員をうならせていました。午後の「芸術鑑賞」では、パフォーマーの「フレアいのバーテンダーYOKOTA」さんによる「顎の上にカラーコーンを乗せるバランス芸」の大道芸を披露して頂き、36個+2個(小)のギネス記録?が更新されました。常人には入りえない領域の驚きと感動を味わったひと時でした。



【大道芸披露】

## 素晴らしいパフォーマンスを披露！ 最高の思い出深い「結城祭」感動！

今まで、何日間もかけて「結城祭」に向けての準備や練習をしてきた成果が発揮された1日でした。係の仕事や発表での役目など一人何役もこなしながら、生徒一人一人が、秘めている思いや能力を惜しみなく発揮し、それぞれの担当や活動の場面で活躍しました。今年の文化祭は、40名の生徒全員の活躍によりつくられた唯一無二の「令和3年度 結城祭」として、五箇中学校の歴史に新たな1ページを描き、五箇中生の絆を深め、五箇中学校への思いが強くなったと思います。また、一つの目標を達成させるために、みんなで協力し合い、自分の役割を責任をもってやり切り、お互いの努力を認め、称賛することにより、自分達を大きく成長させることができたと思います。生徒に秘められたパフォーマンスの素晴らしさに感動し、圧倒され、思い出深い「結城祭」になりました。今回の経験を、是非、今後の学習や自分の将来を切り開くために生かして行ってほしいと思います。

今後も、子どもたちが、今以上に大きく健やかに育っていくためにも、全職員で支援そして指導をしていきたいと思っておりますので、引き続き、保護者の皆さまや地域の方々からのご支援とご協力を切に願っております。



【1年生のポニョ太郎の踊り】



【2年生のあしたのトロクのゲーム】



【3年生のロミオとジュリエット発表後の集合写真】